アジアでがんを生き延びる

私たちは今までにない時代を生きている
コロナという苦難は社会のありようそのものの本質をあぶりだした
高齢化が急速に進むアジアのいまを映し出す鏡としてのやまい・がん
いまあらためて問いたい　がんというやまいを抱えて生き延びるとは
がんを通してアジアの未来をみつめる

深く、広く、学ぶ

前半は医学の視点から、ゲストスピーカーが深く掘り下げる形となり、
後半は様々な社会実装をテーマに医学の外側の広い視点から
セッション形式で語りを重ねる形式となる。
全体を通して、受講者が、アジアのいまという広がりのなかで、
がんとともに、生きる社会ののぞましい在り方を考える授業構成となっている。

開講科目名／Course 医学共通講義XXI／
General Lecture in Medical Sciences XXI
時間割コード／Course Code 41111121
担当教員　東京大学大学院医学系研究科衛生学分野教授　石川俊平

開講科目名／Course 地域文化研究特殊研究Ⅲ
時間割コード／Course Code 31M220-1358A　31D220-1358A
担当教員　東京大学東洋文化研究所教授　園田茂人
東京大学東洋文化研究所特任准教授　河原ノリエ

秋冬学期 WEB授業 | オンデマンド配信日程 | 火曜日 6限　2単位 再履修可能

10/12 オリエンテーション
アジアでがんのUHCを考えるということ
園田茂人・石川俊平・河原ノリエ

11/16 アジアのがんの生物学
石川　俊平　東京大学大学院医学系研究科衛生学分野教授

11/23 アジア諸国協働でのレジストリ研究による
希少がん治療薬開発とUHC実現への戦略
中釜　斎　国立がん研究センター理事長

11/30 AIによるがん病理組織診断補助システム
～アジアにおける活用の可能性と課題～
河村　大輔　東京大学大学院医学系研究科助教

12/7 がんの実態把握に基づくアジアのがん予防とUHC構想
澤田　典絵　国立がん研究センター
がん対策研究所コホート研究部室長
松田　智大　国立がん研究センター
がん対策研究所国際政策研究部部長

12/14 価値に基づく医療の視点からみるがん診療
山本　雄士　株式会社ミナケア代表取締役

12/21 アジア健康構想とがん対策（仮題）
井上　肇　厚生労働省大臣官房国際保健福祉交渉官

2011年から続いた全学横断型連携教育プログラム「アジアでがんを生き延びる」はがんを医学はもとより、政治・経済・文化など様々な領域から捉えてみることを通して、世界の内実を読み解くことを学問的考察の端緒とする「Cross-boundary Cancer　Studies」として継続してきたが、本年度、はじめての試みとして二つの組織の合併開催となる。
また東洋文化研究所においてなされるUICC-AROとのアジアがんUHC政策研究の一環としてUICC-AROからの後援も継続している。

UICC-ARO UICC ASIA REGIONAL OFFICE　uicc global cancer control

12/28 がん医療連携はアジアの繋がりになにをもたらすのか ①
UHC政策研究動向―人間の安全保障とアジア経済
武見　敬三　国連UHC大使・参議院議員
中尾　武彦　前アジア開発銀行総裁・
東京大学公共政策大学院客員教授

1/4 がん医療連携はアジアの繋がりになにをもたらすのか ②
UHC政策研究動向―人間の安全保障とJICAとひとのくらし
牧本　小枝　JICA研究所主席研究員
波平恵美子　お茶の水女子大学名誉教授
井上　肇　厚生労働省大臣官房
国際保健福祉交渉官

1/11 事例研究―蘇州市　地域コミュニティに根差した疾病観と未来生活習慣を形作るものはなになのか
加瀬　郁子　国立がん研究センター特任研究員
田島　和雄　三重大学客員教授
GONG Qiang　中国蘇州・覚悟草堂役員
河原 ノリエ　東京大学 東洋文化研究所特任准教授
元木　寅雄　株式会社New-Tech 代表取締役

1/18 デジタルはアジアの癌医療の風景をどう変えるか
堀江　重郎　順天堂大学医学部泌尿器科学講座教授
坂野　哲平　株式会社アルム　代表取締役
大割　慶一　KPMGヘルスケア代表取締役

1/25 事例研究―　クアラルンプール　アジアのひとのくらしとイノベーション　適正技術と地域
椙村　春彦　浜松医科大学医学部 教授
増井　徹　慶應義塾大学特別招聘教授
Murallitharan M　マレーシア対がん協会
加瀬　郁子　国立がん研究センター特任研究員

2/1 Equityとアジアの未来−RWDはアジアのEquityにどう貢献するか
ワールドキャンサーデーに誰一人取り残さないがん医療について考える
野田　哲生　がん研究会研究所所長
UICC日本委員会委員長
岩崎　甫　AMED・山梨大学特任教授
園田　茂人　東京大学東洋文化研究所教授
河原 ノリエ　東京大学　東洋文化研究所特任准教授

2/8 学生発表 および総合討論

＊ 講師、講義内容については変更の可能性があります。

連絡先：noriekawahara@nifty.com